

平成 16 年 10 月期 国内電信級陸上特殊無線技士試験問題

法 規 12 問 30 分

法 規 (1)

〔1〕 再免許を受けた固定局の免許の有効期間は、何年と定められているか、次のうちから正しいものを選べ。

1. 3 年
2. 5 年
3. 10 年
4. 無期限

〔2〕 次の文は、電波法に規定する「無線従事者」の定義であるが、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「無線従事者とは、 であつて、総務大臣の免許を受けたものをいう。」

1. 無線設備の操作又はその監督を行う者
2. 無線局に配置された者
3. 無線局を管理する者
4. 無線局を運用する者

〔3〕 免許人（包括免許人を除く。）が不正な手段により周波数の指定の変更を行わせたとき、総務大臣から受けることがある処分は、次のどれか。

1. 免許の取消し
2. 運用の停止
3. 運用許容時間の制限
4. 周波数又は空中線電力の制限

〔4〕 電波法に基づく命令の規定に違反して運用した無線局を認めたとき、電波法の規定により免許人がとらなければならない措置は、次のどれか。

1. その無線局の免許人を告発する。
2. その無線局の免許人にその旨を通知する。
3. 総務省令で定める手続により総務大臣に報告する。
4. その無線局の電波の発射を停止させる。

〔5〕 固定局の免許状は、掲示を困難とする場合を除き、次のどの箇所に掲げておかなければならないか。

1. 無線局の適当な箇所
2. 通信室内の見やすい箇所
3. 主たる送信装置のある場所の見やすい箇所
4. 受信装置のある場所の見やすい箇所

〔6〕 次の文は、業務書類の備付けに関する電波法の規定であるが、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「無線局には、正確な時計及び 、無線業務日誌その他総務省令で定める書類を備え付けておかなければならない。」

1. 無線局事項書の原本
2. 免許人の氏名又は名称を証する書類
3. 免許証
4. 無線検査簿

法 規 (2)

〔7〕 無線局を運用する場合において、無線設備の設置場所は、遭難通信を行う場合を除き、次のどれに記載されたところによらなければならないか。

1. 無線局事項書
2. 免許状
3. 無線局免許申請書
4. 免許証

〔10〕 無線局が相手局を呼び出そうとする場合（遭難通信等を行う場合を除く。）において、他の通信に混信を与えるおそれがあるときは、次のどれによらなければならないか。

1. 自局の行おうとする通信が急を要する内容のものであれば、直ちに呼出しを行う。
2. 現に通信を行っている他の無線局の通信に対する混信の程度を確かめてから呼出しを行う。
3. その通信が終了した後に呼出しを行う。
4. 5分間以上待って呼出しを行う。

〔8〕 空中線電力 50 ワットの固定局の無線設備を使用して呼出しを行う場合において、確実に連絡の設定ができると認められるときの呼出しは、次のどれによることができるか。

- | | |
|----------------|------|
| 1. (1)相手局の呼出符号 | 3回以下 |
| (2) DE | 1回 |
| 2. (1) DE | 1回 |
| (2)自局の呼出符号 | 3回以下 |
| 3. 自局の呼出符号 | 3回以下 |
| 4. 相手局の呼出符号 | 3回以下 |

〔11〕 無線電信通信の手送りによる和文の通報の送信速度の標準は、無線局運用規則では、1 分間について何字と規定されているか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 50字
2. 60字
3. 75字
4. 85字

〔9〕 無線局を運用する場合において、空中線電力は、遭難通信を行う場合を除き、次のどれによらなければならないか。

1. 免許状に記載されたものの範囲内で通信を行うため必要最小のもの
2. 免許状に記載されたものの範囲内で必要最大のもの
3. 通信の相手方となる無線局が要求するもの
4. 無線局免許申請書に記載したもの

〔12〕 無線電信通信において、応答に際して直ちに通報を受信しようとするとき、応答事項の次に送信する略符号は、次のどれか。

1. K
2. R
3. OK
4. RPT